

令和6年度 学校経営グランドデザイン

よく考え 助け合い やりぬく 柳津の子

-よく考える子 助け合う子 やりぬく子-

願う子どもの姿

よく考える子

★何をどのように学ぶかを考えることができる子 (主体的・協働的学び)
★学びをどう生かすか考える子

助け合う子

★互いの思いを尊重し、合意をめざし話し合える子 (自由の相互承認)
★自分から行動にうつせる子

やりぬく子

★向上や成長をめざし、「改善」を繰り返すことができる子
★レジリエンスとクリエイティブな力をもつ子

具現のために

【自分づくり】

考えを広め、深める 90%

- ・自己評価の活用(時間・単元・学期末)
- ・自己選択式学習の実施 (算数・社会・理科を中心に)
- ・学習支援ソフトの積極的活用
- ・かかわる人や場の複線化

【関係づくり】

学校に行くのは楽しい 90%

- ・自由の相互承認の啓発
- ・つながる安心感のうみだし (人権週間、よさみつけ、Wサポート等)
- ・特別活動を通じた関係づくり
- ・安全安心な学校施設環境づくり

【未来づくり】

自分によいところがある 90%

- ・異年齢や地域の方との学び
- ・創造的な活動のうみだし (学級活動、縦割り活動、児童会活動等)
- ・ぎふMIRAI'sでの探究的な学び
- ・SDG's教育の推進

笑顔と輝きをうみだす学校経営の指導改善サイクル

学校経営	【学校評価】	児童・保護者評価(年2回)→課題分析→取組改善→実態把握→次年度の改善
自分づくり	【自己評価】	単位時間や単元、期末ごとの学びの振り返り→日常指導
関係づくり	【学力・学習状況調査等】	全国学力・学習状況調査(6年4月)→指導改善
	【いじめアンケート】	年3回(6・11・2月 全学年)→教育相談、個別指導、全体指導→日常指導
	【Wサポート会議】	年2回(7・1月)→サポート担任の話を聞く会を開催
未来づくり	【6ステージ制】	ステージごとの合言葉を生かした教育活動のうみだし→実践→次年度の改善
教職員磨き	【OSの転換】	教科担任制の実施やフロア学級交流の導入→教職員の意識改革と行動変容

笑顔と輝きをうみだす授業研究

- ★主題「未来社会を切り拓くための資質・能力の育成」
- (1) 問題や願いを見出すための導入・終末の工夫
 - (2) メタ認知を促す振り返りの充実

笑顔と輝きをうみだすコミュニティ・スクール

- ★学習ボランティアの活用(全学級実施)
- ★外部講師を活用した地域社会との連携
- ★地域、家庭による登下校指導(見守り隊)

《教職員の働き方改革》 ■子供と向き合う時間や教材研究の時間確保 ■家庭・地域との役割分担、協働

《子どもの期待する輝きとその具現方途》

- 授業の中で発揮される輝き →日常生活とつなげる授業
- 仲間を大切にしたい輝き →相手の思いを知る話し合い活動
- 一人一人の才能あふれる輝き →アイデアを実現する特別活動
- 将来に向け、挑戦していく輝き →自主学習、ぎふMIRAI's

《期待する教職員の輝きとその具現の方途》

- 専門性を発揮した指導の輝き →1人1研究授業
- 子どもと過ごす笑顔の輝き →HAPPY TALK
- 支え合う同僚の輝き →伝え合う感謝と思いやる行動
- 焦点的で質の高い勤務の輝き →やるべき業務の明確化

教育実践
キーワード

笑顔と輝きをうみだす柳津小学校